

小売業の店の数と働く人の数は同じ割合か

2021年6月1日の小売業を比較。

結果

各種食料品小売業は小売業の事業所数の2.71%だが、従業者数では14.61%を占める。店の数だけを比べると働く人の分布とは違う結果になる。

分母の確認

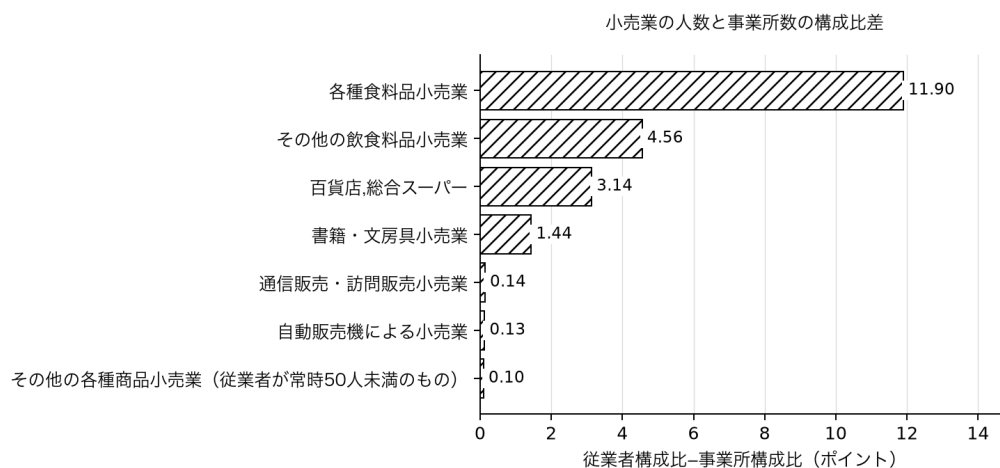
小売業全体の1事業所当たり従業者数は8.57人。分類が付いた業種の合計だけでは8.46人になる。業種別の平均値を同じ重みで平均すると15.40人まで上がる。事業所の少ない大規模業種を過大に扱うためだ。

限界

従業者は個人業主、無給家族従業者、有給役員、常用雇用者の合計で臨時雇用者を含まない。人数は労働時間ではなく労働生産性も示さない。販売額の表は法人など対象が異なるため、この人数と割り算していない。

社内データでの確認

自社店舗なら店舗ID、業態、稼働日、在籍区分別の人数、実労働時間を月別にそろえる。人数だけで足りないか、営業時間や短時間勤務者の比率が違うのかを確認する。売上と比較する場合は同じ店舗・期間の返品後売上を追加し、粗利益を見る場合は商品原価も必要になる。



小売業の店の数と働く人の数は同じ割合かの集計結果

総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査 卸売業・小売業に関する集計」第2表を加工。
2026年9月7日取得。